

IMAGINE  
THE  
FUTURE.

## 附属大塚 学校だより (HP版)

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

## 合理的配慮を求める権利～附属大塚が描くこれからの学校③～

平成から令和へと新しい時代が始まりました。連休明けに行われた運動会では、初めて取り組む小学部そら組による開会式進行、高等部に代わって先輩としての貫禄ある演技を披露した中学部の活躍など、これまでの運動会では見ることのなかった子供達の姿がありました。司会進行をする児童の様子からは、緊張感のある場面で発表したり、表現したりする経験が育ちの場になることを改めて感じました。みんなよく頑張りました。

運動会では、一人一人への支援が工夫されています。「合理的配慮」は、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要とする意思が伝えられたときに（「意思の表明」）、障害の特性やそれぞれの場面・状況に応じて支援することです。「障害者の権利に関する条約」に批准した我が国でも、共生社会の実現に向けて「合理的配慮」の提供に取り組んでいます。

本校は、教育現場での「合理的配慮」について、日々の教育活動への主体的な参加を支えるための個別の配慮と捉えており、学習上または生活上の様々な困難を支える具体的な支援を積極的に行っています。子どもにとってわかりやすい支援を提供することも大切ですが、障害の程度に関係なく、「伝えたいこと」が「伝わる」経験や、皆と同じように学習に参加できる経験を保障するための工夫もその一つです。1学期が始まると様々な教室で音声ペンを活用した学習に取り組む子ども達の姿を見ることができました。学習参加の機会が増えるということは、たくさんの褒められる経験、他者から認められる経験が増えるということです。

「合理的配慮」の提供を求める「意思の表明」は、障害のある人すべての「権利」です。私たちは、本人が望む「権利」を尊重し、一人一人の学習や生活が豊かになるためにできることを考えていきます。



## 「意思の表明」の先に見える共生社会

本校を卒業した子ども達が、実際に「合理的配慮」の提供を求める機会には、どんな場面があるでしょうか。高等部が行なっている主権者教育では、投票用紙への代理記載を申し出る練習もしています。卒業生のAさんは、発話がありませんが、指差しによる選択経験を生かし、補助要員に候補者を伝えることで区議会議員選挙の投票をすることができました。選挙の投票によって政治に参加する卒業生。「私たちの生活をどのように豊かにしてくますか、教えてください」「マニフェストって何ですか？説明してください」、そうした申し出を、立候補者に表明できるようになってほしいと思います。共生社会の実現を目指す主体は私たちでなく、彼ら自身です。附属大塚の卒業生が、将来自分たちの夢や願い、世の中がこうあってほしいと願うことを「自分で考え」「自分で表明できる」ようになるために何をすればよいのか、真剣に考えていきたいです。

## ICT機器活用

### 主体的な学び、意思表示の育ち～附属大塚が描くこれからの学校④～

本校ではICT機器を活用した教育支援の実践研究を行なっています。情報の視覚化は学習内容の理解を促し、知的障害のある幼児・児童・生徒（以下子ども）に「わかりやすい授業」を提供することができます。教員自作の学習素材を電子ボードに提示する授業では、子供達が興味関心をもって進んで学習に取り組む姿が見られます。授業ではタブレット型PCによる教育アプリも活用しています。高等部では、作曲ソフト（ボーカロイド教育版：YAMAHA）や、企業（UNI-TY INC.）と共同開発したプレゼンテーションアプリ（「スマイルノート」）を使っています。調べ学習の成果を発表する際は、スライドに画像や動画を挿入したり、文字を入力したりしています。

ICT機器の開発と活用は、多様な教育的ニーズを有する知的障害児により多くの学習機会を保障することができます。平成26年度からは、「ミライの体育館™」プロジェクト（代表：筑波大学鈴木健嗣教授）による、プロジェクション・マッピング技術を活用したコンテンツ開発に取り組んでいます。この技術では、体育館の床面に投影された情報を手がかりに運動やゲームに参加することなどができます。今年度は、清掃学習のコンテンツ開発を行い、拭き残しが投影された床面を確認しながらダスタークロスで除塵する練習が可能になりました。

このようなICT機器による教育支援は、子供の「主体的な学び」を支えると同時に「意思表示の育ち」を支えます。本校では発語や発話に困難がある子供の合理的配慮として、ICT機器を活用する研究を行なっています。「音声ペン」（Gridmark Inc.）は、ドットコードが印刷された教材やシールをペン先のセンサーでタッチすることで音声データを再生することができます。これまで、選択、要求、依頼、報告といった場面の他、学習発表、振り返り、気持ちの表現にいたる様々なコミュニケーション文脈の補助・代替手段として活用してきました。自分の意思が伝わる経験の積み重ねは、人へ向かう動機や、やりとりを楽しもうとする気持ちを高めてくれます。また、伝えられたという達成感や、相手に認められたという喜びは、子供の自尊感情を育てます。ICT機器の開発による教育支援の可能性がますます期待される一方で、子供の特性や実態を十分に理解した上で教材を作成し、活用する教師のセンスと力量が求められています。さらに、卒業後も見据えた実際の生活にどう繋げていくかを考えることがこれからの課題です。

（3月11日発行の日本教育新聞12pより引用 寄稿：主幹教諭 中村 晋）



代替手段の活用は音声表出の力も育みます



高等部現場実習壮行式で司会をする生徒の様子



## 中学部 『素敵な出会い』

今年度も中学部に6名の元気な新入生が入学しました。年度初めの部集会では、『自己紹介』をテーマにみんなで話し合いました。今後も日常生活の中からテーマを決めて、考えたり、話し合ったりしながら、問題を解決する力を育てていきたいと思っています。

4月26日は、新入生歓迎会が行われました。小石川植物園へ行く予定でしたが、雨天の為、校内で自己紹介やクイズ大会、ダンスを踊って楽しみました。2・3年生からは、心のこもった手作りのプレゼントが1年生へ贈られました。昼食は、近くのレストランへみんなで出かけて、1年生から3年生が和気あいあいとした雰囲気の中で会食をしてきました。生徒たちは、早くもお互いの名前を呼び合って、新たな友達との関係を築き始めています。

### 中学部教員チームからひとこと

新しい素敵な出会いを大切にして、中学部教員で力を合わせて、18名の生徒達を全力で支援していきます！



## 高等部 『合言葉は集中力！』

4月19日（金）、高等部恒例の新入生歓迎会を行いました。

企画、司会進行は「もう先輩（2年生の学級目標のフレーズ）」になった高等部2年生が担当しました。また、3年生は、かつこよく大塚特別支援学校の紹介をしてくれました。

自己紹介の場面では、「困ったことがあったらなんでも相談してください」「仲良くしましょう」など、先輩から1年生へやさしさ満載のメッセージが送られました。

大塚特別支援学校の紹介では、現場実習、体育校外学習、大塚祭、スキー合宿、附属坂戸高との交流、スキー合宿、修学旅行、3年生を送る会、生徒会選挙の紹介がありました。

ファイトのうたの後は、赤・白・黄色の3チームに分かれて、「おにボール」「ペインティングゲーム」を行いました。ゲーム中はもちろん、準備、後片付けの場面でも、先輩として優しく声を掛けたり、やり方を説明したり、昨年度の卒業式からほんの1ヶ月ほどしか過ぎていませんが、上級生としての顔を見ることができました。見学をしてくださった保護者の方や先生方は、「さすが先輩！」と、とてもうれしい気持ちになりました。

### 高等部教員チームからひとこと

『大変だな、きついな』と感じたとき、教員チームも『集中力！高等部！』の合言葉で乗り切ってきました。今年は「頑張るって、楽しい！」の精神をプラスして23名の生徒の皆さんと有意義な一年を過ごしていきます。



### 支援部教員チームからひとこと

共に支え合い、みんなが幸せに生きられる「共生社会」の実現のために、今年も張り切って地域支援と校内支援に邁進します！本校に蓄積された様々なノウハウの発信に努めていきます！

## HPトピックスの作り方～高等部広報委員会トピックス①～

記者：生徒Aさん

高等部トピックスをご覧頂きありがとうございます。今回は、広報委員会のトピックスの作成方法をご紹介します。作成方法は、次の3つがあります。

- 1) パソコンで文章を入力し、iPad・デジカメなどで写真を撮影する。
- 2) スマイルノート（UNI-TY INCと、大塚特別支援学校が共同開発したiPadのアプリ）で作成する。
- 3) 手書きの原稿

第一弾は、スマイルノートを使った作成方法を紹介します。

## 【スマイルノートとは】

- ・特別支援学校用に開発されたプレゼンテーションアプリです。
- ・カメラで写真を撮る、カメラロールから写真を選ぶ、動画を撮る、テキストを入力する、手書きで文字やイラストを描く、音声を録音するなどがあります。

## 【スマイルノートを使った作成方法】

- ・スマイルノートの機能をつかってスライドを作成する。
  - ・スライドをスクリーンショットにとってHPに掲載する。
- スマイルノートを使ってHPを作成している様子と、スライドの一部を紹介します。

今回のトピックスはいかがでしたか？これからも見やすいトピックスを製作しますので今後ともよろしくお願いします。\*この他にもたくさんのスライドがHPの高等部トピックスに掲載されています。



## 6月の予定

- |   |  |
|---|--|
| 3日（月）合同朝会<br>第1次現場実習（高2.3）～7日                           | 15日（土）教員免許状更新講習（幼小）<br>授業参観（中高）                            |
| 4日（火）後楽幼稚園交流（幼）<br>宿泊学習事前健診（小1～4年）                      | ※中高等部の授業をどなたでも参観できます。                                      |
| 5日（水）小学部宿泊学習（小1～4年）～6日<br>保護者会（幼）                       | 17日（月）学校休業   |
| 6日（木）介護等体験C-①   | 18日（火）個人面談（中①）   |
| 7日（金）介護等体験C-②<br>保護者会（小中）<br>第1次現場実習終了（高2.3）            | 19日（水）にこにこ広場⑤<br>個人面談（中②）                                  |
| 10日（月）合同朝会<br>発育測定（幼小）<br>サロン・ド大塚10:00～会議室              | 20日（木）避難訓練 介護等体験D-①<br>個人面談（中③）                            |
| 11日（火）えがおカフェ11:00～12:00会議室<br>高等部ライフキャリア1班              | 21日（金）校外学習②高尾山（中）<br>体育校外学習①筑波大（高）<br>介護等体験D-②<br>個人面談（小①） |
| 12日（水）発育測定・スマイル（高）<br>にこにこ広場④（幼）<br>作業・進路保護者会（高）13:30下校 | 24日（月）合同朝会   |
| 13日（木）発育測定・スマイル（中）                                      | 25日（火）個人面談（小②中④高①）   |
| 14日（金）授業研究会（幼小中）11:15/30下校<br>高等部15:20下校                | 26日（水）附属小学校交流（小）<br>3～6年15:00下校 1～2年14:00下校<br>個人面談（高②）    |
|   | 27日（木）個人面談（小③高③）   |
|   | 28日（金）個人面談（小④高④）   |

